

国際保護連合 (IUCN) に

“世界の侵略的外来種ワースト100” に選ばれた

# ツヤハダゴマダラカミキリ

の生息が確認されました。

令和4年2月までに8県21市町から発見情報！！

(宮城県・福島県・茨城県・埼玉県・富山県・愛知県・兵庫県・山口県)

※本虫は海外において、幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼしています。

- 体長 雄成虫 : 20~29mm  
雌成虫 : 22~35mm
- 体色 全体に光沢のある黒色で鞘翅に約20個の白色~黄斑がある
- 触角 12節で、3~12節には明瞭な白色の帯がある  
雄は体長の2.5倍  
雌は体長の1.3倍と長い
- 成虫は5月~10月に出現
- 1年に1世代で、卵・幼虫・蛹態で越冬

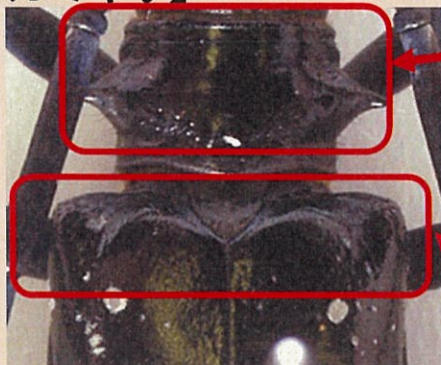
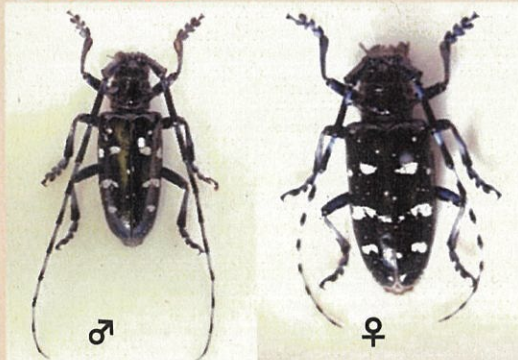


雄成虫

雌成虫

## 在来種のゴマダラカミキリとの見分け方

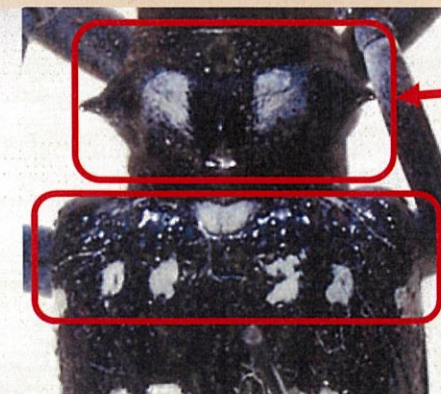
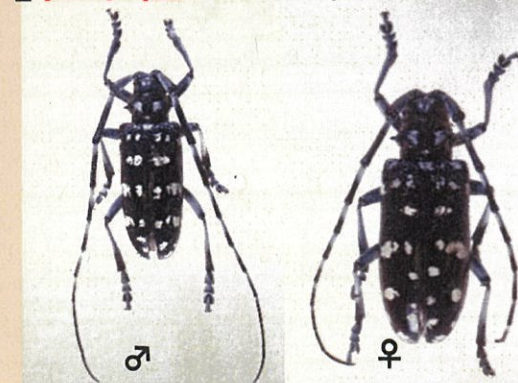
### 【外来種ツヤハダゴマダラカミキリ】



『前胸背』  
・ 白紋を持たない

『上翅基部』  
・ 顆粒状突起を持たない  
・ 白紋を持たない  
・ 小楯板は白色軟毛に覆われない

### 【在来種ゴマダラカミキリ】



『前胸背』  
・ 中央に2つの白紋を持つ

『上翅基部』  
・ 顆粒状突起を持つ  
・ 白紋を持つ  
・ 小楯板は白色軟毛に覆われる